

## 家族会「北原ゆうあい会」の取り組みについて

### ～家族によるより良い病院作り～

北原リハビリテーション病院 作業療法士  
日高 まゆな

当院は、脳血管障害を呈された方を対象とした回復期リハビリテーション病院である。当院では、独自の取り組みとして開院当初から「家族ボランティア制度」を導入し、患者様のご家族が院内外の美化活動や患者様の余暇活動充実のサポート、物品作成などに従事している。それにより、病院の状況や患者様の病態、リハビリテーションの内容など、スタッフと患者様、ご家族との相互理解が促進され、患者様を皆で支えていく基盤づくりを図っている。

また、この取り組みの1つとして「家族によるより良い病院作り」を目標に、月に1度の家族会「北原ゆうあい会」を開催している。これは患者様が突然病に倒れ、今後の生活に対する悩みや不安を抱えるご家族同士が話し合い思いを共有することで、今後に向けた前向きな思いへの転換や精神的支えとなるような支援を目指した活動である。毎月平均して12名前後のご家族が参加され、開催にあたってはリハビリテーションスタッフがサポートを行っている。

この会では、参加されるご家族同士で患者様の入院直後の様子やリハビリテーションの効果、退院までの大まかな流れなどを互いに話すことで悩みや不安を解決していくことができる。参加後の感想では「悩んでいるのは自分だけではない。」「肩の荷が降りた。希望が持てた。」など正の表出が多数聞かれている。同じ体験をしているご家族同士だからこそ、分かり合えることは多く、仲間意識も芽生え、北原ゆうあい会以外でのご家族同士の交流機会の増加にも繋がっている。また、患者様との関わり方のポイントや病態に対する知識などをご家族同士で情報交換することによって、患者様、ご家族ともに障害に対するイメージができ、前向きな気持ちへの整理、退院後の生活をイメージする手助けとなっている。

定期的実施している特別会では退院された患者様、ご家族を招き、入院中のご家族に向けてのアドバイス、体験談をお話していただいている。今後も会を継続的に実施し、患者様、ご家族のサポートを行う中で、その都度ご家族の希望に合わせて特別会を開催していき、より退院後を想定した生活の構築を支援する方向で進めていく。